

社会保険労務士 山下事務所 は 「この会社で働くことができてよかった」 そう思えるような会社作りのお手伝いを致します

★ 誰 の 責 任 で し ょ う か ? ★

◆日常生活の中で、言い訳を聞く場面に遭遇します。お子さんがいらっしゃるご家庭では、毎日のように起こっていることでしょう。

「何もしていないのに壊れた。」
「こんな所に置いたのは、僕(私)じゃない。」

このような言い訳を聞いた親は、次のように諭すと思います。
「何もしていないのに壊れるはずがない。」
「こんな所に置くのは君しかない。」

◆皆様方の会社でも、言い訳がはびこっていませんか？

あれが悪い、これが悪い、景気が悪い、お客が悪い、よその部署が悪い。そして、最も言いたいことは、「私の責任ではない」。

お客様からのクレームに対して、「それは〇〇部署の担当ですから、そちらへお掛け下さい。番号は・・・」と平然と言う社員もいらっしやいます。まずは誤って、自分で対処できないのであれば、担当部署から連絡をさせるのが筋のほうです。

◆言い訳の心は、親に厳しく育てられた人でも、甘やかされて育てられた人でも必ずあるようです。かく言う私の心にもあります。

前者の場合は、叱られたり、怒鳴られたりする怖さのあまり、逃避しようとする心が芽生えてしかるべきでしょう。
後者では、「あなたの責任ではない。相手が悪い、学校悪い、あなたを守ってあげる。」という環境が当たり前のようになり、「誰かのせい。」と思いつく心が芽生えても不思議ではありません。

◆言い訳の心は誰にでもあります。「自分に責任はない。」と考えるのは、保身に伴う心の安定が望めるからです。

◆しかし、本当に自分には責任がないのでしょうか。自分の行動や考え方に、一遍たりとも瑕疵はないと言えるのでしょうか。

◆会社の中には組織があり、その組織には当然に役割があり、更に、一個人に細分化された役割を担います。

◆役割を実行する際の個々人の行動や考え方は、大枠から見れば単なる作業に過ぎないかも知れません。いわゆる「歯車の一つ」というものです。

◆歯車の一つではあっても、自分の仕事の先(最終的にはお客様)を見ることができれば、ミスがあっても冷静に対処することができるかも知れません。

◆ところが、その上司が、ミスに対して部下を叱責・追及するだけであれば、言い訳の感情が芽生え、実際に言い訳をします。予定が先延ばしになったり、ユーザーの都合であったり・・・

◆そして、当の上司もその上の人に言い訳をします。景気のせいであったり、部下のせいであったり・・・

「自分の部署は、部員一丸となって目標達成に向けて邁進しているのですが、努力が足りなかったようです。来月は、目標が達成できるよう頑張ります。」

これを聞いた経営者様は、「そうか、景気が悪いからなあ。仕方がないだろう。まあ、来月は頑張らたまえ。」と納得するでしょうか。

◆景気が悪い、購買意欲が落ちている、予定が先延ばしになること等は、今に始まったことではありません。

大切なことは、「では、どうすれば良いのか、何をやらなければならないのか。」を皆で知恵を出し合うことのはずです。

◆「売上がダウン、利益が取れない。」という現実に対して、言い訳を考えている場合ではありません。

◆言い訳、責任転嫁を考えることに腐心するのではなく、「何をやらなければならないか。」を心から議論することです。そうでないと、会社のピンチを救うことなど出来ません。

JREPOに関するお問い合わせは下記まで

社会保険労務士 山下事務所

〒815-0071 福岡市南区平和2-23-2
Phone 092-982-2595 Fax 092-523-1836
E-Mail : office-srry@sr-yamashita.com
ホームページ : <http://sr-yamashita.com>

【業務案内】

- | | |
|------------|------------|
| ★就業規則の作成変更 | ★401k導入支援 |
| ★人事賃金制度の構築 | ★セミナー／講演 |
| ★管理者研修の実施 | ★各種助成金の申請 |
| ★退職金制度の構築 | ★労働／社会保険手続 |

事務所は不在がちです。ご連絡は、お電話もしくはE-mailでお願い致します。